



# せがさきの風



〒236-0037 横浜市金沢区六浦東三丁目2番1号  
 <TEL>781-2446・2447 <FAX>701-4892  
 <MAIL> y3segasa@edu.city.yokohama.jp  
 <HP> <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/segasaki/>

## 素晴らしいチームワークとチーム

学校長 大塚 ちあり

7月31日金曜日から8月2日日曜日までの三日間、六浦東連合町内会主催の盆踊りが開催されました。

初日は早朝からたくさんの町内会や子供会の方々、本校の職員も参加し、連合町内会岩崎会長をはじめ役員の方々によるご指示で校庭にやぐらを建てたり大量のパイプを組み合わせてステージやテントを設置したり、100個以上の提灯と電球を取り付けたりして、まちの皆さんに楽しんでいただく風情豊かな盆踊り会場をつくりあげました。夕方には、町の皆さんによる夜店も数店。仕入れや販売等の準備も大変だったことでしょう。中には中学生の手作りのお店もあって、六浦東連合の幅広い取り組みや猛暑日の炎天下に負けないパワーの凄さに驚かされました。町の方々による町の方々のための、15年以上続く一大手作りイベント。まさに素晴らしいチームワークとチーム力の成果です。

盆踊りには欠かせない大太鼓も小・中高生から青年の方々の見事なバチさばきで、雰囲気盛り上げていただきました。踊りは、おそろいの浴衣のお師匠様達が踊ってくださったので、初めての人でも安心して踊ることができました。「校長先生、ぼくね、盆踊り大好き！一緒に踊ろう。」「わたしは、『ずんどこ』と『ビューティフルデーン』の踊りが大好き！」と、私も子どもたちに誘われて、お師匠様の踊りをお手本に、連日たくさん踊らせて頂きました。更に会場は消防団員の方々による見回りで、安全で安心な三日間となりました。また今年も、親父バンドの方や卒業生、本校職員それに元職員で、賑やかに先生バンドで盆踊りを盛り上げさせて頂きました。私のギター伴奏は遅延として上達しないのですが、それでも「去年よりはうまくなったんじゃない？」と励ましの言葉を掛けてくださる方もいらして、涙がでそうでした。

今年の盆踊りには、二日続けてサプライズがありました。

なんと、東の空に満月のような丸い月が昇り、提灯の明かりが輝き出したころ、岩崎会長が「皆さん空を見上げてください。校舎の上を人工衛星が通ります。」と突然のアナウンス。校庭で盆踊りを楽しんでいた大人も子どもも全ての人が上空を見上げると、なんと星のように輝く人工衛星が、A棟校舎の上をスーっと一直線に西から東へ移動していくではありませんか！わずか数秒の出来事でしたが、校庭は一瞬静まり、その後たくさんの歓声が湧きました。「人工衛星を見たのは生まれて初めて！」と興奮して感激を伝えてくれた子どもたちが何人もいました。

後で伺ったのですが、この人工衛星は、あの油井宇宙飛行士が乗っている国際宇宙ステーションでした。

物資を補給するために打ち上げたロケットが2回も失敗に終わり、日本の「こうのとり5号」に大きな注目が集まったことは記憶に新しいところです。種子島宇宙センターから打ち上げられ、固唾を飲んで見守った方もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。物資を広大な宇宙に送り出し、無事届け無事受け取るという任務を、見事にやり遂げたスタッフの技術力とチームワークに大きな賞賛が送られたことは言うまでもありません。私もテレビで、油井宇宙飛行士が操作するロボットアームが「こうのとり5号」を見事にキャッチした時には、思わずテレビに向かって拍手し、命綱である物資や貴重な研究機器が無事に届いたことにほっといたしました。万が一補給機の「こうのとり5号」に不具合が発生した時に備え、筑波宇宙センターでは2000通りの手順書を作成して、80人ものスタッフが待機していたそうです。国際宇宙ステーションに関わった、たくさんの方々の素晴らしいチームワークとチーム力の成果です。

子どもたちにとって、素晴らしい生き方をしていられる人たちを身近に感じられたこの夏に感謝。

学校では、8月27日から前期の後半が始まりました。10月3日土曜日に開催される、スポーツフェスティバルへの取組も始まります。6年生がリーダー、5年生がサブリーダーとなって下学年をリードし、日頃の学習の成果を発表します。お互いのよさや違いを認め合いながら力を合わせて準備をしたり、何度も練習にチャレンジしたりと異学年や同学年のなかまのつながりを深め、チームワークやチーム力を高め、人と豊かに生きあう学びにつなげてほしいと思います。そしてその学びが、やがて自分のまちや社会に貢献する力の礎になるよう、私たちもチーム瀬小として、チーム力を発揮して参ります。